

2022年12月23日

株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント
代表取締役社長 鳥越 慎二
(東証プライム コード 8769)

ISO30414 コンサルティングを展開する HC プロデュースとの顧問契約を締結

～人的資本の整理・情報開示のコンサルティングサービス展開を見据えた提携へ～

株式会社アドバンテッジリスクマネジメントは、株式会社 HC プロデュースと顧問契約を締結したことをお知らせいたします。

昨今、ウェルビーイングの観点を含む「人的資本経営」が注目され、人的資本への投資は企業価値向上に欠かせないものと捉えられています。2023 年度には人的資本の情報開示が義務化となり、企業には人的投資の本質的価値を捉えた戦略構築が求められています。

当社はかねてより、人事労務データの集約・一元化する「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を起点に、課題に応じた施策の提示・実行、効果検証、軌道修正の各プロセスに伴走してまいりました。さらに今後、人的資本経営を推進する企業には、人的資本の情報整理・開示支援から始まり、より高度なコンサルティングが必要になるものと推測されます。

こうした背景から、当社はこのたび人的資本について多くの知見を有する株式会社 HC プロデュースと顧問契約を締結いたしました。同社は、人的資本の開示フレームワークとして国際的に最も代表的な ISO 30414(※)のサービスを日本で初めて展開した企業です。

同社を顧問に迎えることで、当社コンサルティングサービスの深化を図り、顧客企業の満足度向上につなげます。また将来的には、当社による人的資本コンサルティングサービスの展開を見据え、知見の蓄積およびサービス提供体制の構築を図ってまいります。

※ISO 30414…正式名称「ヒューマンリソースマネジメント—内部及び外部人的資本報告の指針」。人的資本を網羅的・体系的に示した指標を包含した、人的資本の情報開示のためのガイドライン。

「人的資本可視化指針」では、ISO 30414 の指標も多数取り上げられており、今後の人的資本開示に向けては、ISO 30414 の指標を参考に検討が進んでいくと考えられる。

■株式会社 HC プロデュース(HCPro)について

2021 年 10 月 1 日、株式会社ドリームインキュベータよりカーブアウト、MBO を経て創立。「人的資本」の分析・強化・開示および経営・事業開発リーダーの育成に関するサービスを展開する。

<https://hcproduce.co.jp/>



HCProduce

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:鳥越 慎二 <https://www.armg.jp/>)

1995年、退職者の所得を補償する保険「GLTD(団体長期障害所得補償保険)」専業代理店として創業。

2002年より、日本で初めてストレスチェックを取り入れた、予防のためのEAP(従業員支援プログラム)サービスの提供を開始し、周辺領域へと事業を拡大。2017年12月に東京証券取引所 市場第1部銘柄に指定。

現在は、EAPや研修・ソリューション、健康経営支援を軸とする「メンタリティマネジメント事業」、病気・ケガ、出産・育児、介護による休業・復職支援や仕事との両立支援を軸とする「就業障がい者支援事業」、個人向け保険販売を軸とする「リスクファイナンス事業」を展開。

従業員の「ウェルビーイング」、「ハピネス」向上を掲げ、今後は福利厚生アウトソーシングや労務管理支援、組織活性のためのツールなどへと事業拡大。各種サービスのDX化を推進し、「ウェルビーイング領域におけるNo.1プラットフォーム」をめざす。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント 広報担当:小林 pr-info@armg.jp